

○応募総数 4,267作品  
○応募地域 42都道府県 及び 海外2か国(ブラジル、イギリス)

## 令和6年度愛顔感動ものがたり エピソード部門(一般)受賞作品一覧

賞名	タイトル	氏名	都道府県	概要
知事賞	カモメ対メダカの午後	長濱 眞理	大阪府	激動の時代を生き抜きながらも90歳を超え認知症になってしまった母と幼馴染。戻ることのないかつての2人の底抜けに明るかった姿を思い出す話。
特別賞	ご飯のケーキ	益川 知実	千葉県	シングルマザーになりたてで忙しい日々を過ごしていた頃に、小学生の子どもたちが相談し作ってくれた世界一のバースデーケーキの話。
優秀賞1	負けたよ…おまえには…	長谷川 潤	滋賀県	中学時代に、自らを犠牲にしてまである女子生徒を守った男子に敗北感を感じていたが、30年後の同窓会でその2人に再会する話。
優秀賞2	コウレイシャより愛をこめて	渡辺 廣之	大阪府	パリで暮らす娘と「はたらくるま」が大好きな2歳半の孫とのビデオ通話中に、娘の発したある言葉を孫が勘違いしてしまった話。
優秀賞3	専属美容師	藤川 香那	愛媛県	普段はあまり感情を出さないが、髪を切ってあげると愛顔で喜んでくれる父のために、感謝と恩返し気持ちを含めて髪を切り続ける話。
入選1	好物	相野 正	大阪府	月命日の前日に、何か言いたげに夢に出てきた亡き妻。以前、出会った老女の言葉を思い出し、妻の好物の上用饅頭を用意した話。
入選2	優しさのリレー	加藤 聖子	神奈川県	上京直後、具合が悪くなったところを助けてもらい、自らも困っている人に寄り添うことを習慣としているうちに、親切のバトンが受け継がれていることに気付く話。
入選3	薄情な弟	藤中 湧也	東京都	兄の遺体と対面し、家族や兄の恋人が涙を流す中、1人泣けずにいたが、幼少期に兄から呼ばれていたあだ名が登録された兄のLINE画面を見て涙が溢れた話。
入選4	心がけ	浅見 こずえ	埼玉県	結婚前、盲目の義母に戸惑いや不安を抱えていたが、義母の言葉や人柄から受け取った大切な宝を、子や孫へ渡していこうと決心する話。
入選5	お母さんとお買い物	樹 さおり	静岡県	自らが母になったことで、幼い頃、母と買い物をしている時に感じていた疑問の答えが見つかり、母に感謝の気持ちを伝えた話。
佳作1	紅まどんな	加藤 誉子	大阪府	親の心配をよそに、結婚し海外での新生活で笑顔を取り戻した娘。そんな時に、娘の夫の実家である愛媛の果樹園から届いたみかんを食べてあたたかさを感じた話。
佳作2	コーヒーちょうだい、ブラックで	藤原 奈々	愛媛県	雨の日も風の日も猛暑日も、お店にやってきては必ずコーヒーを注文する94歳の「のぶごさん」との交流にまつわる話。
佳作3	とてもええ人やった	谷門 展法	千葉県	母を泣かせてばかりだと思っていた父が亡くなり、父を知る多くの人から聞いた言葉で、今まで知らなかった父の本当の姿を知った話。
佳作4	ニーキュッパの女	佐々木 祥子	福岡県	結婚のプレゼントとして両親から渡された自分が生まれた日の新聞。茶化しながらも、自分の誕生を喜んでくれた両親の温もりを感じた話。
佳作5	母からの手紙	末崎 政晃	福岡県	地元を離れ上京する日に母からの渡された手紙を読み、それまで鬱陶しく感じていた母の思いを初めて知って感謝の気持ちで胸が一杯になった話。
佳作6	推し活家族旅行	岩下 涼子	兵庫県	忙しさや子どもの成長とともに失いかけていた家族の繋がりが、囃らずも次女の推し活をきっかけとした愛媛への家族旅行によって蘇った話。
佳作7	またラジオの中で	永井 芳美	愛媛県	かつては鬱陶しく感じていた亡き父とのエピソードをラジオに送るうちに、父への感情が変化し、自らが送った父との思い出をラジオで聴くことが嬉しい時間になった話。
佳作8	逃げた鯉	高橋 彰子	大阪府	風で飛んでいってしまった息子の鯉のぼりを探す中で、それまで面識のなかった同じマンションに住むたくさんの人達と心温まる交流が生まれた話。
佳作9	尊敬する人	上農 多慶美	石川県	東日本大震災で甚大な津波被害を受けたふるさと閉上で、叔父の位牌を探しながら、生前の叔父の言葉と笑顔に思いをはせる話。
佳作10	しんださとし	尾木 直子	滋賀県	亡き父を元にして子どもたちが野球ゲームに登録したキャラクター「しんださとし」。数年ぶりに起動したゲームの中で元気な姿を見て泣いた話。